



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享庸

出席報告：会員 74 名 出席 46 名 出席率 62.16% 前回出席率 73.97% 修正出席 68 名 確定出席率 93.15%

四つのテスト

- ㊶ 真実かどうか？
- ㊷ 好意と友情を深めるか？
- ㊸ みんなに公平か？
- ㊹ みんなのためになるかどうか？

職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して：
 - 最上の品質、最高のサービスを提供しているか
 - 常に正直と親切を旨としているか
2. 従業員に対して：
 - 彼等の長所を充分に認めかつ買っているか
 - 安全で快適な職場を確保しているか
 - 苦情に対して公正な態度で対処しているか
 - 自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか
3. 競争者に対して：
 - 公正な態度で接しているか
 - あなたは、行動をもって誠実を感銘させているか
 - 彼等とともに事業水準の高揚につとめているか
4. 協力者に対して：
 - 公平でしかも友情にみちた関係を保っているか
 - いつも支払をよくしているか

会長報告

川村徳男君

1. 10日のI.G.Fは各実行委員会の周到な準備のお蔭で落ち度なく円滑に運営され、会議、懇親会ともに大きな成功を納めることができましたことを感謝申し上げます。あとは記録が残っておりますが、委員の方々大変ご苦労様ですが、よろしくお願い致します。
2. 本日の持ち廻り理事会でクリスマス家族会を例会変更で行なうことが承認されました。12月18日5時半から第一インということです。特に平素ご苦勞をかけている奥様をぜひ、また、お子様、お孫さんなど多勢出席され、賑やかなクリスマス例会にして頂きますよう私からもお願いを致します。
3. 台中港区R.C.の童会長さんから、米山奨学会委員長の高橋さんと会長の連名の宛名で手紙が届い

ています。1つは9月18日の会長報告の中で申し上げました、前会長の蔡さんの知人の米山奨学会のことで高橋委員長のご配慮に対するお礼とその後の進行について、もう1つは当クラブの台湾訪問の歓迎についてでした。理事会で歓迎会のメンバーが決まったこと、歓迎内容も書道、図画の展覧会、会員所持盆栽の展覧、日本人学校の先生及び生徒を歓迎会に招待するなど、姉妹クラブ締結10周年を祝して愉快的宴会になるよう計画しております。ということです。大変熱のこもった歓迎会を準備しておられる様子なので、これに応える意味でも、ぜひ多くの方が参加されますよう重ねてお願い致します。

4. 本日入会されました皆川光吉さんの所属委員会をS.A.A.とします。
5. 次の例会までの行事

庄内空港の建設を推進しましょう

(1) ロータリー関係行事

18日(日)は温海R.C.の創立15周年記念式典が萬国屋で行なわれますが、大変おめでたいことです。これには会長・幹事が招待を受けております。

(2) 一般行事

15日は七五三ですが、三才は男女児、五才は男児、七才は女児というのが普通です。昔は吉日を選んで各家庭でお祝いをしたのですが、江戸時代の末期の頃から11月15日にお祝いするようになり、現在のように着飾って神社にお参りするようになったのは大正時代に入ってから習慣だそうです。鶴岡で一般化したのは戦後ではないでしょうか。もともとは武家社会で子供の成長の節目に当って行なわれた、三才の「髪置き、五才の「袴着」、七才の「帯解き」の儀式にちなんだお祝い事で、本来は数え年であるのが本当なのでしょうが、子供さんや家庭の都合で満年齢である場合もあるようですが、要は子供の健やかな成長を願う心が表わせれば、どちらにとこだわることはないと思います。

また、15日は狩猟解禁ですが、対象の動物や地域によって期間の長短があるようです。狩猟をなさる方はもちろん、この期間中にきのこ採りなどで山に入る方、充分気をつけて下さい。

19日(月)は、鶴岡地区税務関係団体協議会(友野重也会長)から、オピニオン・リーダーとの懇談会に出席依頼がありました。内容は来週報告します。

幹事報告

迎田稔君

○例会時間・場所変更

- ・温海R.C. 11月19日の例会は15周年記念式典の為11月18日(日)に変更。
12時15分点鐘
- ・鶴岡R.C. 11月20日、会場変更して産業会館5階に致します。
- ・I.G.F 負担金1,000円出欠にかかわらず納入下さい。

○回覧 東京R.C.会報

I.G.F開催のお礼

庄内分区代理 大川俊一君

11月10日に行われたI.G.F、鶴岡クラブの皆さんには大変苦勞をいただき、どうもありがとうございました。会長の報告の通り無事終了致しました。平松パストガバナーからは大変和気あいあいの中に熱心に討議があったと大変結構であるとおほめの言葉がありました。私の仕事は公式訪問のお手伝いすることと、I.G.Fを主催するという二つの行事が終りまして、閉会の挨拶で申しましたら、懇親会の席上で分区代理から、のんびりされては困ると、こっちのクラブに来てロータリークイズの解説をしろと話があり、2~3伺い、種本は仕入れ致して解説のため勉強しています。本日はこちらのクラブでクイズを渡されているようです。この中で解説なされるようなことがありましたら、種本の一部に加えたいと思います。

松田委員長初め、新穂さん、上野さんのアドバイザーほんとうにありがとうございました。

新会員紹介

渡部利夫君

皆川光吉さんは、銀座で皆川運動具店の社長さんであります。昭和4年11月18日の誕生でありまして、ご家族は奥様、おかあさん、お嬢さん二人の5人家族であります。皆川さんを紹介するにふさわしい方は、同級生の新穂光一郎さん、山村さん、エビスヤの社長さん多種再々であります。趣味はご商売に関係あるゴルフ、スキーであります。



ご挨拶

皆川光吉君

只今ご紹介いただきました皆川です。本歴史ある鶴岡ロータリークラブの会員として入会することにな

りました。無学無能ではありますが、諸先輩の絶大なるご指導をお願い致しまして、ロータリークラブ

の会員として恥ないようにがんばります。よろしくお願い致します。

会員スピーチ

I. G. F. を 終 え て

松 田 士 郎 君



去る11月10日の忙しい一日を第253地区庄内分区のインターシティ・ゼネラル・フォーラムを、パストガバナー平松信武氏を迎えて開催致しました。鶴岡R.C.にはホストクラブとして、又、全員参加をしてもらい

本当にありがとうございました。

ロータリー歴の浅い私にはフォーラム委員長という大任は大変荷が重かったのですが、さいわいベテランの小池繁治さん、才能ある若生さんの両君の力強いご援助をいただき、無事終了させていただきました。又、川村会長初め全会員の協力を賜りまして本当にありがとうございました。当初どんな大会にしようかと考えましたが、和気あいあいと楽しい大会にと思いました。でも、限られた予算でしたので、ホーム・フォーラムとでも云いましょうか、家族の中で話し合うような雰囲気話し合いをしてもらおうと頑張りました。

内容的な事について申し上げますと、深くは理解はしておりませんが、結論を引き出す事にこだわらずに、ロータリークラブの皆さんの意見交換の場であると感じました。年に一度、庄内分区のR.C.が一堂に会し、自分のクラブをよりよいクラブにする為に切磋琢磨している姿を見て大変若さを感じました。只、内容的には分科会方式が良かったのか、全体会議が良かったのか、分科会の数が適当であったのか、クラブの身近な問題をテーマに討論会を開催しておりますが、ロータリーと全く関係のない地域の問題を取り上げて、提言者を部外者の方を起用して勉強会を行ってもよかったのではなかったかと思いまし

た。たとえば、今地域で話題になっている庄内空港の問題一つ取り上げてみましても、庄内分区全体の深い感心事であり、取り上げてみたかったテーマであったように思います。

参加者について申し上げます。鶴岡R.C.初め、鶴岡西R.C.より全員参加をいただきました。総員で、215名の申込者があった事を報告いたします。これも伝統ある鶴岡クラブがホストクラブであった為かと思えます。フォーラムS.A.A.の方々には佐藤元伸さんを委員長として大変お忙しい中を、きめ細かな会場設営をしていただき、当日は朝8時から準備をしてもらい感謝を申し上げます。特に第二分科会は大変せまい会場であり、配置に大変苦勞されました。当初会場を中央公民館と考え、日時に合わせ交渉しましたが、懇親会の関係とかで利用出来なかったのが残念です。せっかくすばらしい施設が出来たので是非利用したいと頑張ってみたのですが、懇親会場を隣りの婦人会館を利用してはと考え、行なおうとしたのですが、婦人会館は婦人以外の利用まかりならぬという規則があり、産業会館に落ち着いた次第です。

記録委員会の方々には阿蘇司朗さんを委員長として、各分科会の記録と司会という日の当らぬ部門を担当していただきました。又、その記録をもとに報告書という最もやっかいなものをお願いし、最後までご迷惑をおかけいたします。第一分科会の報告の中でも報告書についてはあまり細かいところまで報告する必要はないのではないかという意見も出されております。要点のみの報告書でよいのではないかと考えます。

接待親睦委員会の方々には三井健さんを委員長として、昼食と懇親会の準備をしていただきました。

昼食については、冷たくなってもおいしいものという事で中江さんに大変勉強していただき、準備をしていただきました。大変おいしかったです。懇親会には三井健さんにお骨折りをお願いし、大変苦勞をおかけしました。特に懇親会では男性ばかりの中に花を添える意味でホステスさんを調達してもらい、集めるのに大変苦勞なされたとお話を聞きました。夜の部で大変散財をおかけしたのではないかと考えております。又、折詰も大変低廉な価格で提供していただき、重ねてお礼申し上げます。

総務会計委員会の方々には渡部委員長さんをはじめとして、これからの決算の方よろしくお願い致します。以上、私見を交えてご報告申し上げます。

スマイル

丹下誠四郎君 6月の受賞記念を店の前でNHKの取材、本日午後6時30分放送のお礼

川村徳男君 I.G.Fを終了して

早坂徳治君 市制60周年記念市功勞者として表彰。7日に祝賀会を開催して

ピジター

温海R.C. 佐藤五右衛門君・阿部一太君
本間新之丞君

鶴岡西R.C. 大川俊一君・菅原年雄君
瀬尾助三郎君

ロータリー用語便覧 (12)



人頭分担金 各クラブは国際ロータリーに、そのクラブの正会員、シニア・アクティブおよびパスト・サービス会員（名誉会員は除く）一人当たり年額米貨17ドルのR.I.分担金を毎年7月1日および1月1日現在

の会員数に応じて分納しなければならない。（国

際ロータリー定款第9条、国際ロータリー細則第15条第3節）。

この分担金をPer Capita Dues（人頭分担金）という。

スポンサー・クラブ 新クラブ結成に助力し、その後も国際ロータリーの一員として新クラブが速やかに成長するよう指導の責任を引受けたクラブのことをいう。具体的には、新クラブ結成にあたり、ガバナーに協力する特別代表の属するクラブが、スポンサー・クラブになる。

3-Hプログラ ム Health Hunger and Humanity Programのことで、「健康を増進し、飢餓状態を緩和し、世界中の人たちが人間としての、また社会全体としての発展を計る」という願いをこめて、R.I.理事会が新たにR.I.75周年記念基金としての特別基金を創設したものである。この基金は、児童および成人に対する伝染病の免疫処置を世界に実施するというもので、ロータリーの存在理由を世界に問うに足る内容をもつ大規模なもので、国際奉仕計画に使われるプログラムである。資金源は全世界のR.C.であり、各R.C.はこのための資金募集活動を計画するように要請されている。そして会員一人当たり最低15ドル、または一クラブにつき1500ドルの寄金を使なったR.C.は特別表彰を受けることになっている。

3-Hプログラム実施のための世界委員会が設置され、各15人の委員からなる3つの小委員会が編成されている。すなわち、①栄養不良が原因の伝染病や機能障害を撲滅・減少させる計画を担当する委員会、②食糧増産、食糧の処理・配分改善のための飢餓追放計画を担当する委員会、③教育・社会文化環境、職業、人間の精神状態という面での水準向上を計る人間性尊重の計画を担当する委員会の三つである。これらの委員会は18ヶ国の人々で構成されている。

（今週の担当者 斎藤 昭）